

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月17日

計画の名称	広島市宅地耐震化推進事業（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	広島市												
計画の目標	大規模盛土造成地の変動予測調査（第1次スクリーニング）を追加実施し、調査結果を基に修正した大規模盛土造成地マップを公表することで、市民の更なる防災意識の向上を図るとともに、第2次スクリーニングに着手し滑動崩落のおそれのある大規模盛土造成地の抽出を行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	277	A	277	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H33末)
1	大規模盛土造成地マップを作成し公表する。 大規模盛土造成地マップの公表率	94%	%	100%
2	2次スクリーニングを実施し、滑動崩落のおそれのある大規模盛土造成地の抽出を行う。 第2次スクリーニング実施箇所数	0箇所	箇所	18箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
「広島市地域強靱化計画」に基づき実施される要素事業：A-1														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	広島市	直接	広島市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	変動予測調査(追加抽出調査 、マップ作成、第2次スクリ ーニング計画作成、第2次ス クリーニング)	広島市						277		-	
												小計						277		
											合計						277			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 都市整備局指導部宅地開発指導課で評価を実施	事後評価の実施時期 令和5年3月
	公表の方法 広島市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	大規模盛土造成地の変動予測調査（第1次スクリーニング：大規模盛土造成地の抽出）を追加実施し、当該調査を踏まえて全ての大規模盛土造成地マップを公表することで、市民の更なる防災意識の向上に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
新たな社会資本総合整備計画（広島市宅地耐震化推進事業（期）（防災・安全）（重点計画））において、令和5年度から第2次スクリーニングに着手することとしており、引き続き、大規模盛土造成地の耐震対策を推進することとしている。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	大規模盛土造成地マップの公表率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	第2次スクリーニング実施箇所数	
	最終目標値	18箇所
	最終実績値	0箇所
		令和元年度に国が示した第2次スクリーニング計画策定の新たな考え方に基づき、優先的に第2次スクリーニングを実施すべき大規模盛土造成地について整理する必要が生じたため。